

# きたひろサービスネット通信

発行者 北広島市介護サービス連絡協議会 会長 三木千晶  
 事務局 〒061-1274 北広島市輪厚 704-16 エスポワール北広島内、島谷清張  
 電話：011-376-3911 / FAX：011-377-5621  
 Mail：kitahiroshakyo@rose.ocn.ne.jp（広報部会 風間）  
 ：social@shojinkai.or.jp（広報部会 佐藤）

H29.4.30現在 全市の人口 58,918人、65歳以上 17,689人—高齢化率 30.0%

65歳以上～75歳未満 9,871人—16.8%、75歳以上 7,818人—13.3%

## 「介護福祉士ピンチ…養成校入学、定員の5割切る」

これは今年1月の読売新聞WED版の見出しです。内容は原文のまま紹介します。

『介護職場で中核的な役割を担う「介護福祉士」を養成する全国の大学や専門学校などで2016年度、定員に対する入学者の割合が約46%だったことがわかった。

定員割れは、データのある06年度以降、

11年連続で、50%を割り込んだのは2度目。定員枠自体が減少傾向にあるなかでの入学者割合の低下には、重労働の割に賃金が低い処遇が影響しているとみられる。

調査は公益社団法人「日本介護福祉士養成施設協会」（東京）が毎年度、厚生労働省が指定する全ての介護福祉士養成施設に実施している。16年度の定員枠が約1万6700人（377校）だったのに対し、入学者数は06年度以降最低の約7700人だった。

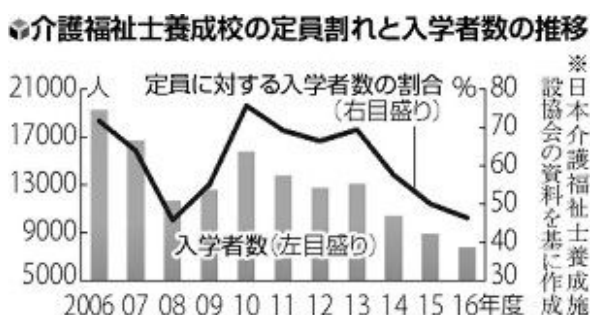
定員数や入学者数は減少傾向が続いている。06年度は定員が約2万6800人（409校）、入学者数が約1万9200人だった。これと比べ、16年度は定員で約1万1000人、入学者で約1万1500人少ない。』というものです。

学生数の減少は、私たち事業所にも影響し人材確保がとても厳しい現状にあります。空知管内のある法人は、採用する高卒職員に2年間、「介護福祉士」の専門校に通学して資格を取得してもらい人材確保（初任給・賞与以外に修学資金・通学費等支給）をしています。この対策について、北海道保健福祉部福祉局は「福祉施設が新卒者に給与を払いながら資格を取らせるのは聞いたことがない。」という道新WED版を読みました。

また、市内の事業所においても職員確保にご苦労されているというお話はよく耳にします。今年度、北広島市では色々な人材育成・確保に関する対策を実施しておりますのでご紹介します。

### 「北広島市介護従事者人材バンク」

4月1日から北広島市に設置され、市内の介護施設等で就労を希望する方を支援します。人材バンクに登録すると、施設が採用を希望したときに、施設から連絡がくる仕組みです。5月23日現在、3名の登録があるほか、既に4月に市内の事業所で採用された方がいるそうです。詳しくは、市役所高齢者支援課（TEL：011-372-3311／内線2165）までお問い合わせ願います。



### 「くらしサポーター研修」

今月16日、17日には、ヘルパーなどの資格がない方を中心に、「高齢者の身体的・心理的变化と廊下」「認知症の人とのコミュニケーション」「食の支援」等の介護のイロハを学んで、安心して介護の仕事が始められることを目的とした研修会が実施されました。受講生は20代から70代（女性が多い）の37名で、そのうち17名が人材バンクへの登録を希望されているそうです。

なお、講師は市職員と当協議会会員事業所職員が務めました。

### 「カイゴのお仕事合同相談会」

6月18日（日曜日／午前10時～午後3時／市役所1階－保健センター）に市内で初めての市内20法人（当協議会会員事業所）が出展した合同相談会が実施されます。

「扶養の範囲で働きたい。」「未経験ですが。」「幼稚園の時間内で。」等の介護・就職に関する相談を受け付けます。皆さんの周りで、どこに相談するとよいか困っている方、仕事しようか迷っている方がおりましたら、入退場自由で履歴書の持参がの必要がない気軽に誰でも参加できる相談会となっておりますのでお声かけをしてみてください。（※託児コーナー、ハンドマッサージ（午前午後各1時間×1回）があります。）

当協議会は、今後も北広島市と連携して人材育成・確保に協力していく予定です。

なお、人材バンク及び合同相談会の詳細は、市役所ホームページでも見ることができますし、Google等の検索欄に「北広島市 介護従事者人材バンク」「北広島市 カイゴのお仕事合同相談会」とそれぞれ入力しても見ることができます。（広報部会 K）

---

## ☆☆ 役員会からのお知らせ ☆☆

---

### (1) 総会関係

4月25日に、芸術文化ホール活動室1・2において総会を開催し、会員みなさまにご出席をいただきありがとうございました。

総会は、金澤武洋議長（エスポワール北広島）の進行で「H28－事業報告及び収支決算」「H29－事業計画及び収支予算」「理事の選任（地域部会役員交代）」についてご審議いただきご承認をいただきました。

また、市役所高齢者支援課から「認知症高齢者等SOSネットワーク」について、今後「徘徊事案が発生したときに、搜索体制（車1台・2名以上）がとれる事業所は市役所高齢者支援課（電話：011-372-3311／内線2172）に連絡していただき、市内のどのエリアを探せばよいか指示を受けて効率的な搜索ができるようにしていますのでご協力をお願いします。」という説明を受けました。

徘徊事案が発生した際に市役所高齢者支援課からのメール連絡は、当協議会に登録いただいているメールアドレス等を利用していますのでご承知お祈いします。

最後になりましたが、今後とも会員の皆様のお力添えをいただき、運営してまいり



たいと考えておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

## (2) 事業所メールアドレスの変更について

事業所の人事異動やシステムの入れ替え等で、メールアドレスに変更があった場合は、必ず広報部会にご連絡願います。アドレス変更をされていない場合、研修会等の案内が届かないこととなりますのでご注意願います。

「最近、〇〇事業所の〇〇さん、部会に来ないね。」というとき、部会に違いはありますが、正副部会長等が電話連絡や部会資料を送付する際、お手数ですがメールが配信されているか確認をお願いいたします。配信されていない場合は事業所から直接広報部会へ連絡するようお願いいたします。

なお、メールアドレスがない事業所はFAX連絡となります。

※メールアドレスは、北広島市の認知症高齢者等SOSネットワークの協力機関としても登録されることとなります。市役所から配信された徘徊者に関する情報につきましては、適切な対応・処理をお願いいたします。

## (3) 総会前に実施した講演会について

認知症介護研究・研修仙台センター主任研究員で東北福祉大学講師の吉川悠貴氏から「介護従事者等による虐待要因について」と題した講演会を実施しました。

『介護従事者による虐待要因について』の研修に参加して

介護付有料老人ホーム悠々 介護福祉士 油谷杏美

今までに何度か研修会に参加させていただきましたが、虐待について考えることは難しいことですが、今回も自分が経験したことを見直す良い機会となりました。

日々の仕事では慣れでしてしまうことが多く、自分の仕事は「一番は誰のために介護し、誰の為の生活の場であるのか。」ということを見落としていました。介護者は、入居者との関係性が日々の慣れから「家族や友達」という感覚に陥りやすく、また言葉遣いや思い通りにならないと感情的にもなりやすくなってしまいがちです。

どこまでが虐待なのか、そうでないのかを確認することもなく「自分は大丈夫。」と思い込んでいる自分がいるように思いました。「自分は大丈夫。」ではなく、「入居者にとって如何にあるべきか。」と常に自分に問いかけ、機会あるごとに研修に参加したり、仕事の振り返りを行ったりして、感性を磨く努力をし、入居者が笑顔で過ごせる所であるように介護をしたいと思えます。

『介護従事者等による虐待要因について』に参加して

北広島市みなみ高齢者支援センター 林 晃市

今年度から地域部会の部会長を拝命しました、林と申します。皆様、今後ともよろしく申し上げます。

私も今までさまざまな“虐待”に関する研修を受けさせていただきましたが、今回の

吉川先生の内容はとても興味深く、多くの刺激をいただきました。以下にまとめます。

- どこからが虐待なのでアウト・どこまでは虐待ではないのでセーフという線を引く考え方の危うさに気づかされました。すべては連続したつながりであり、「普通の暮らし」も「虐待を受けている暮らし」も何等かのつながりがあり、その間にグレーゾーンが存在しています。色が黒（虐待状態）に近づくのではなく、白（虐待のない状態）に近づく為に何ができるだろうか？という視点が大事だと改めて認識できました。
- 『そのお困り事は誰にとっての困り事なのか？』をはっきりさせなければならないと痛感しました。介護者にとっての困り事を解消しようとする事は、当事者からすると不適切な関わりに他ならず、思い通りにならない事をされているだけで、根本的解決はいつまでたっても図れません。ただ、認知症・精神疾患の方々への内的世界を100%理解することはできません。支援者は当事者の方々を理解しようとする姿勢・歩み寄りが重要だと学びました。

虐待を予防する上では、「組織的に良心を育てる取り組み」「気づきのアンテナを多く立てれる取り組み」「今行っていることを振り返り、疑問を持ち、改善を目指す取り組み」が大切です。介護保険事業等に係る職員の虐待に対する気づきのアンテナが研ぎ澄まされてくると、虐待の早期発見にもつながりますし、市民が尊厳ある安心した生活を送ることができる街になってくれると信じております。

---

### ★☆☆ 地域部会のお知らせ ★☆☆

---

皆さんこんにちは、今回の担当は、きた高齢者支援センターです。

今回はきた高齢者支援センターが昨年度から実施している『食事交流会』をご紹介します。

地域で暮らす皆さんが気軽に参加して交流できる場として、老若男女問わずたくさんの方に参加頂き、楽しく食事しながら過ごしてもらっています。

地域の専門職の皆さんにもご協力頂き、一緒にテーブルの中に入り、介護相談もお受けしております。

#### 【対象者】

- \* 介護をしているご家族・介護を受けている方
- \* 介護をしていた方
- \* どこかへ出かけて 誰かと食事をしたい方
- \* みんなで わいわい 楽しいことが好きな方
- \* 健康について・介護保険についてなど相談をしたい方  
特に男性の方大歓迎です。
- \* 地域の専門職の方もぜひ一度遊びに来て下さい。

5/13の食事交流会は、地域のボランティアの方がカレーライスを作ってくれました！



## ＜今年度予定＞

### ◎西の里地区

- ・日 時：第2回：10月21日（土） 12：30～  
第3回：1月20日（土） 12：30～
- ・場 所：西の里会館（西の里南1丁目2-2）
- ・参加費：未定（準備する食事によって料金が変わります。  
第1回はカレーライスで500円でした。）



\* 食事交流会終了後、引き続き西の里虹サロンを開催します。

### ◎東部北地区

- ・日 時：第1回：6月10日（土） 12：30～  
～今回は「ごちそうさん食堂」（美沢）のご協力を得て定食を  
ご用意致しますので参加費600円です。  
申込みは、6月7日（水）までにお電話下さい。  
第2回：10月14日（土） 12：30～  
第3回：3月10日（土） 12：30～
- ・場 所：ライフサポート北広島（共栄町4丁目11-1）

\* 食事交流会終了後、引き続き東部北おれんじカフェ（認知症カフェ）を  
開催します。

### ○共通事項

※申込み：事前に申し込みが必要となります。申し込み期限は、近くなり  
ましたら広報等でお知らせ致します。

- ・問合先：北広島市きた高齢者支援センター／TEL：375-5888

### 《ボランティアさん募集中》

食事交流会では、地域のボランティアの方にも、会場設  
営や、お食事の準備、配膳等ご協力頂き開催しております。  
介護保険利用中の方もボランティアスタッフとして協力  
してもらっています。

食事交流会だけではなく、様々な事業でボランティアス  
タッフを随時募集しておりますので、地域の為に何かした  
い等、お手伝いしてくれる方がいましたら是非ご紹介下さ  
い。よろしく願い致します。



☆☆ 社会福祉協議会からのお知らせ ☆☆

(1) 地域支え合いセンターからの情報提供について

- ・救急情報キット「エルフィンバトン」の対象者及び記載項目の追加がありましたのでご連絡します。今後、記載情報を更新した方が良いと思われるご家庭があった場合は、お手数ですが情報カード用紙を事務局まで取りに来ていただければ幸いです。また、各事業所で取りまとめていただければ必要枚数をお届けしますのでご連絡願います。

- 【対象者】(1) 65歳以上の方だけの世帯（一人暮らし・夫婦・親子・兄弟姉妹など）  
(2) 同一世帯に65歳未満の方がいて、配布を希望する方

【情報カード】下の太字部分が追加されました。

介護認定	受けていない・ <b>事業対象者</b> ・要支援(1・2)・要介護(1・2・3・4・5)
その他	<b>救急隊員や医師に伝えたい事</b> など

【連絡先】TEL：011-378-4277 / FAX：011-372-1704  
Mail：sasae-ai-c@sage.ocn.ne.jp